

# 芦屋市廃棄物運搬用パイプライン施設検討委員会

～パイプライン施設の概要について～

芦屋市市民生活部  
環境施設課

# 目次

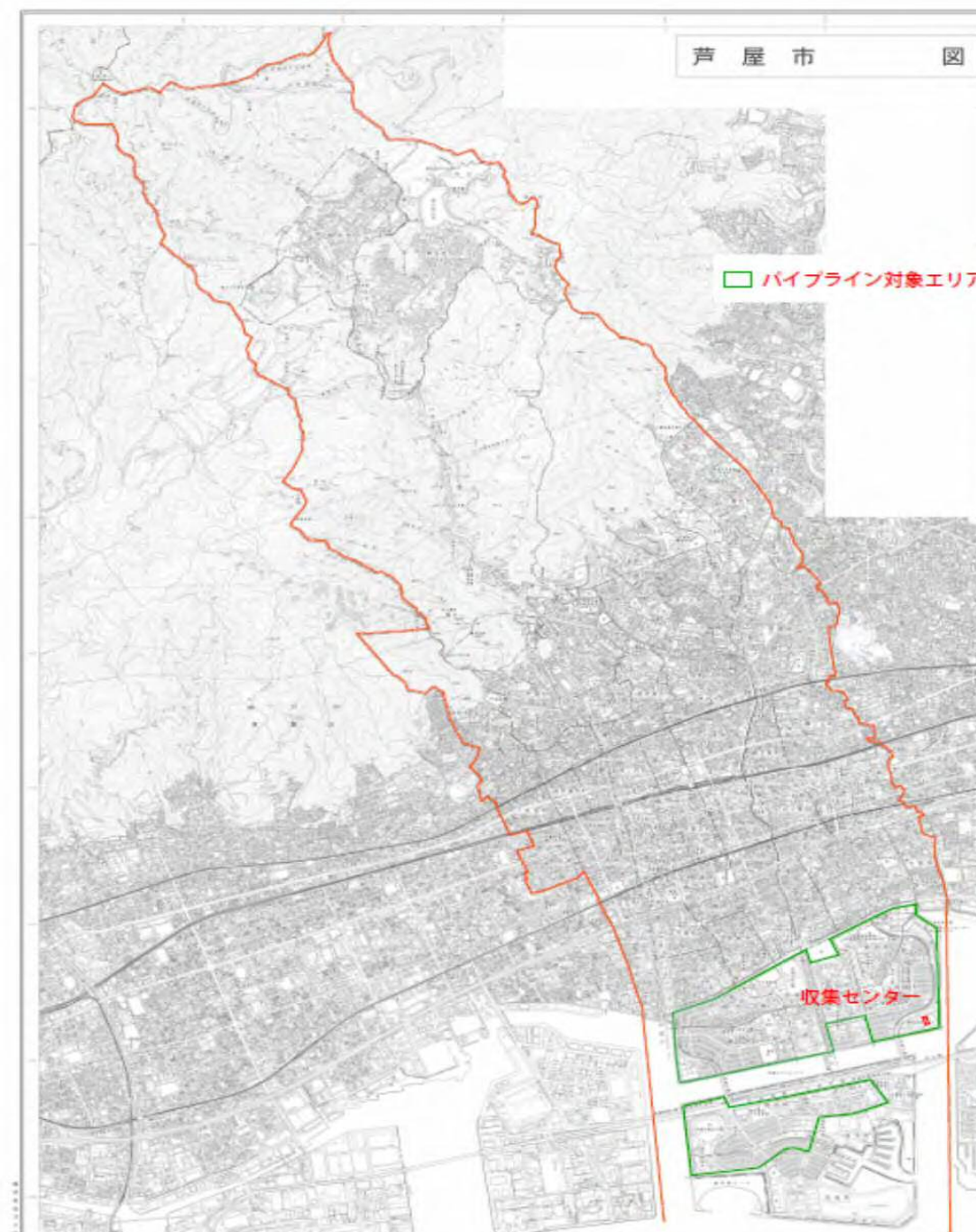
- 芦屋市の概要
- パイプライン地域の概要
- パイプラインの構造
- パイプライン導入の経緯
- 今後の予定について

# 芦屋市の概要

- 芦屋市全域

	芦屋市全域
東西幅	2.5 km
南北幅	9.6 km
面積(ha)	1,857
人口(人)	96,659 *
世帯数	43,876 *
年間可燃ごみ 収集量(t) (H25)	18,325

\* : H25年10月1日現在



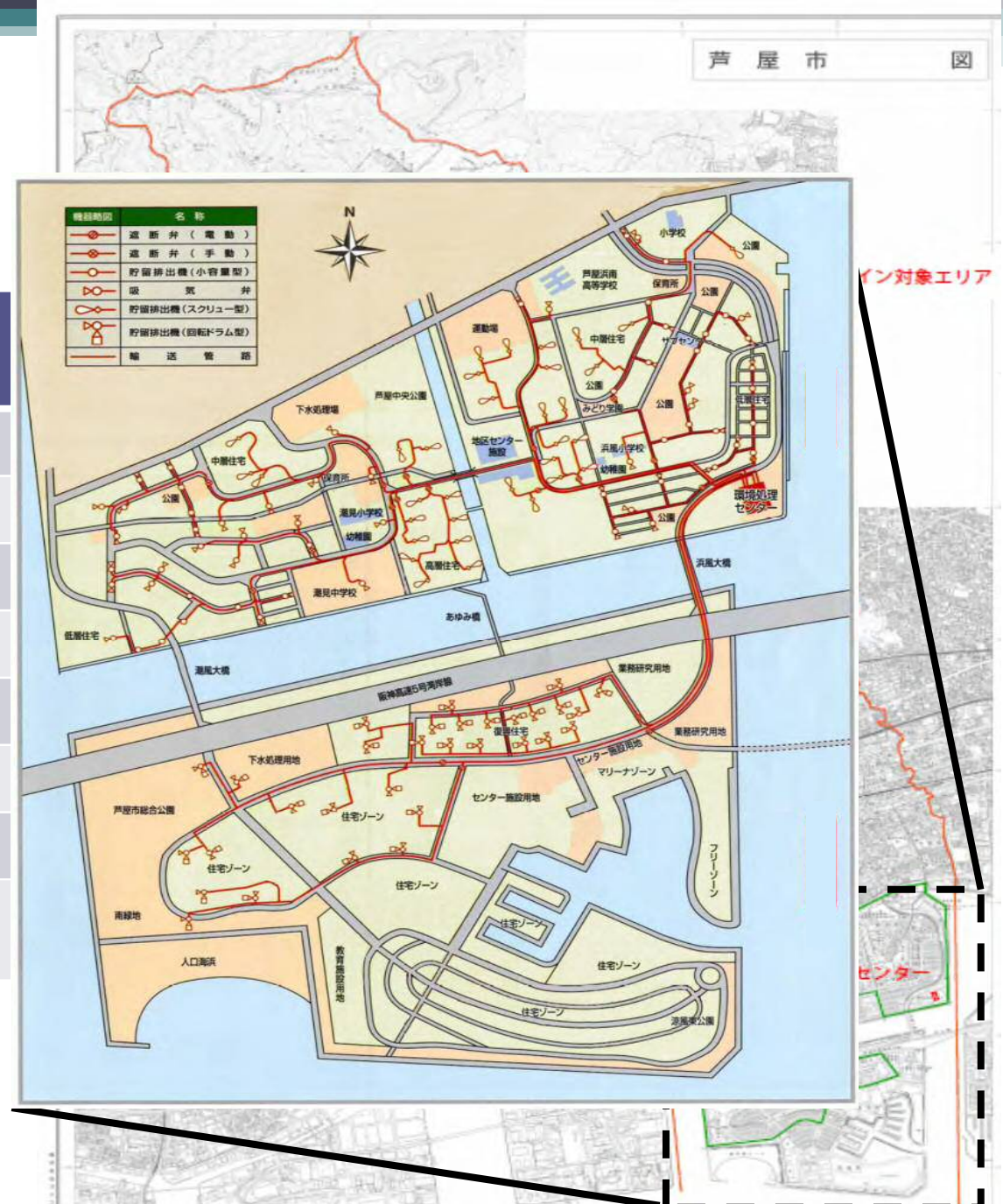
# 芦屋市の概要

## ・パイプライン地域

	芦屋浜地域	南芦屋浜地域
面積 (ha)	120	40
	160 (約 9%)	
人口 (人)	12,991	3,052
*	<del>13,505</del>	<del>2,533</del>
	16,043 (約 17%)	
世帯数	5,764	1,396
*	<del>5,958</del>	<del>1,197</del>
	7,160 (約 16%)	
年間可燃 ごみ収集量 (t) (H25)	2,563	424
	2,987 (約 16%)	

( )内は市全体に対する割合

\* : H25年10月1日現在



# パイプライン収集の対象ごみ

対象

## 燃やすごみ

生ごみ類



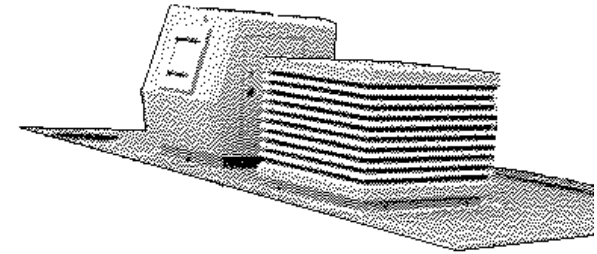
紙くず・紙おむつ類



革製品



プラスチック類



非対象

## 紙資源

菓子箱類



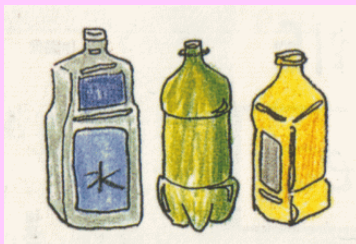
## ビン



## 缶



## ペットボトル



## ガラス類

ガラス・せともの  
(割れたものを含む。)  
[厚紙などで包んで、  
袋に入れてください]



## 鉄類



## 陶器類

## その他

スプレー式容器  
[整髪料・殺虫剤・卓上  
ガスボンベなどは、中  
身を使い切ってから風  
とおしのよい場所で穴  
をあけ、袋に入れてく  
ださい。]



# パイプライン収集の対象ごみ

## 非対象ごみの出し方



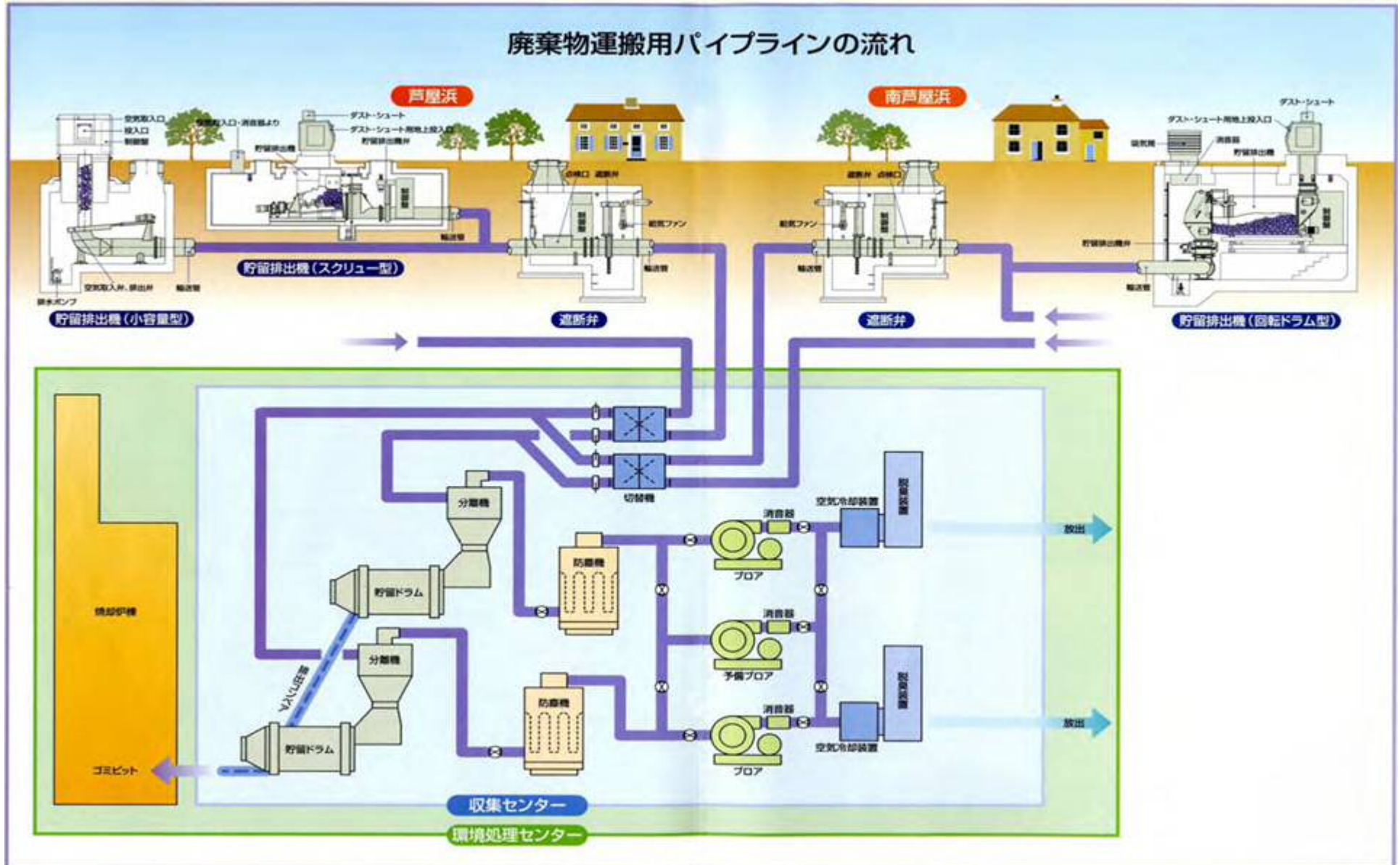
一般地域(地上投入口近辺)



高層住宅地域(集積所設置)



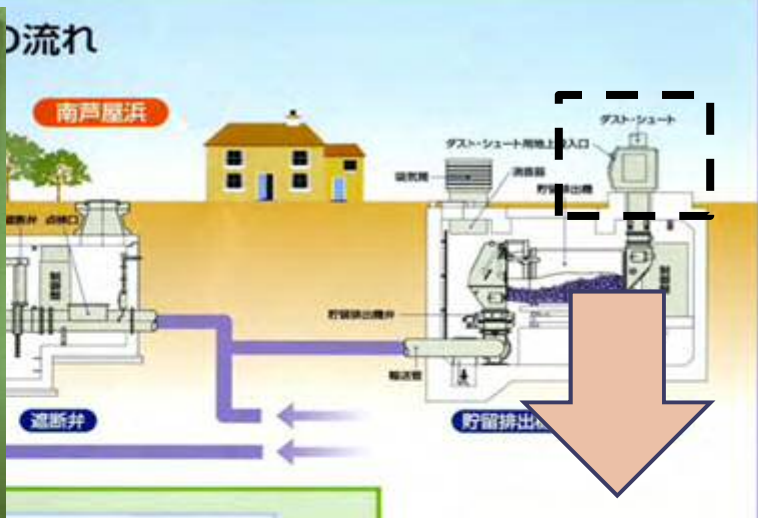
# パイプラインの構造



# パイプラインの構造(地上投入口, ダストシュート)



ダストシュート  
(215ヶ所)

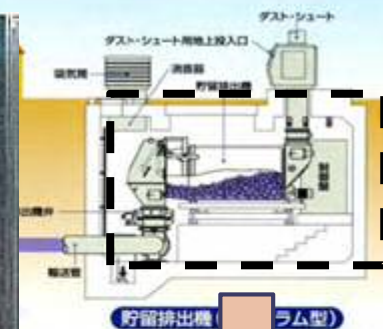


地上投入口  
(127ヶ所)



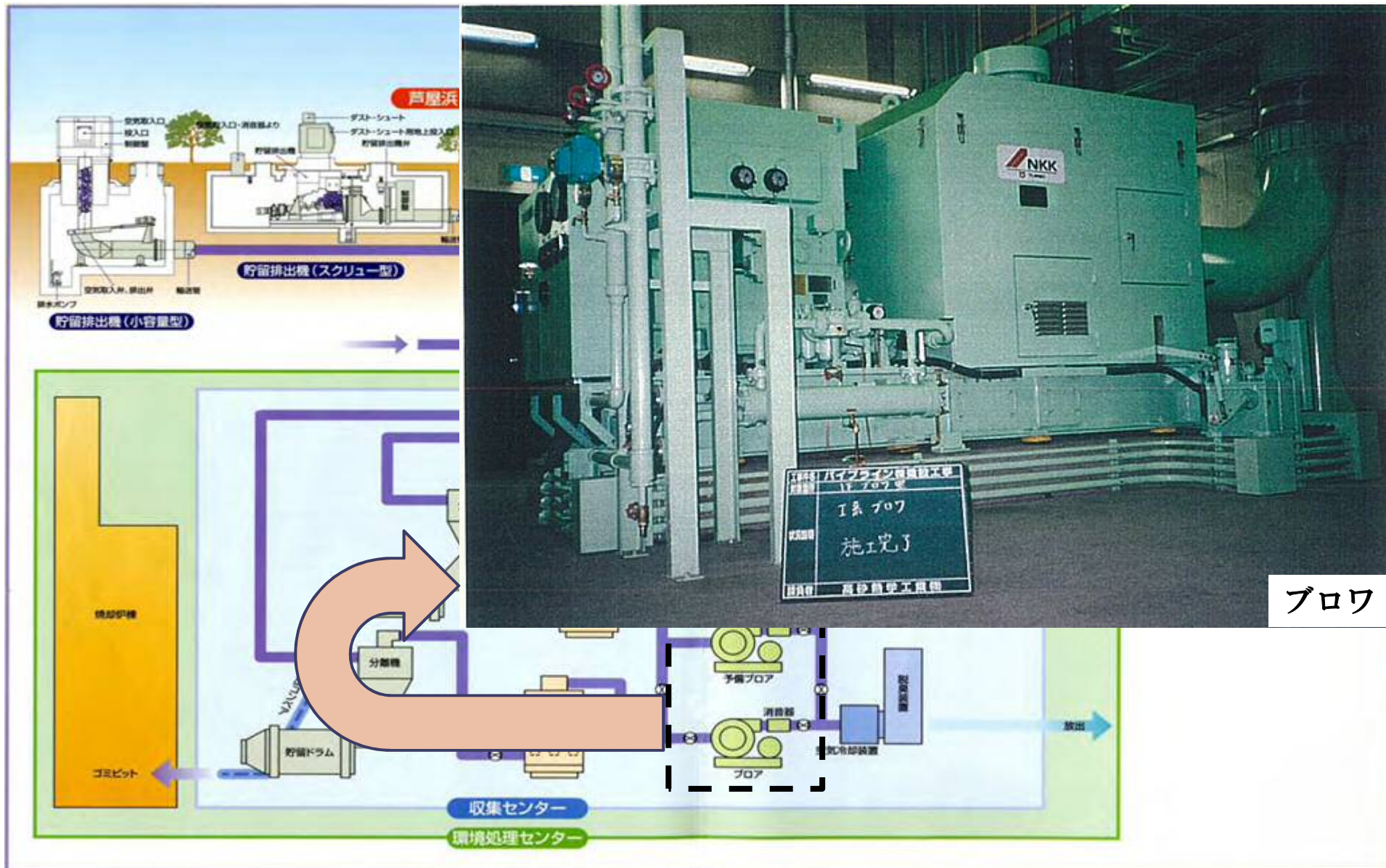
# パイプラインの構造(貯留排出機)

廃棄物運搬用パイプラインの流れ

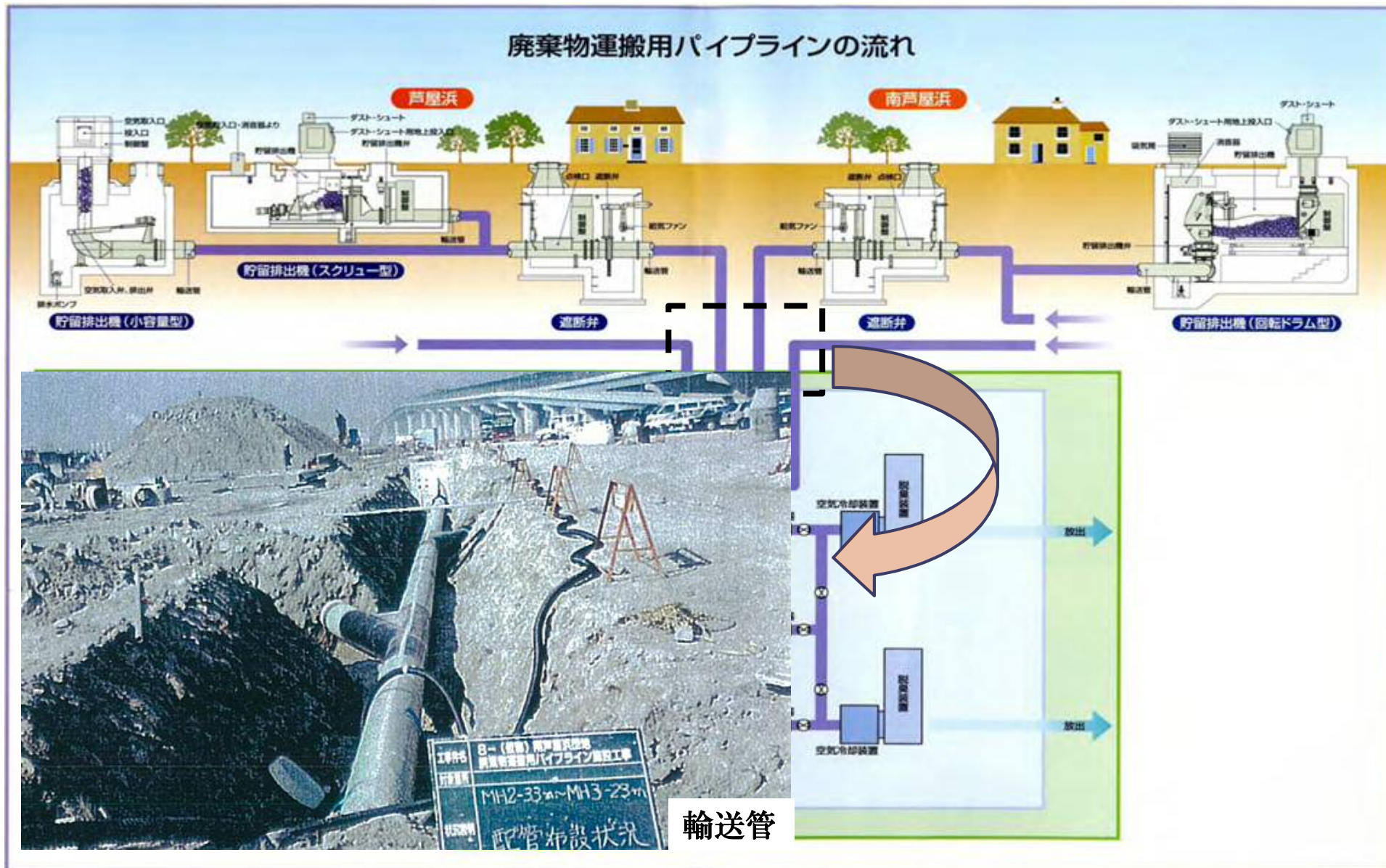


貯留排出機

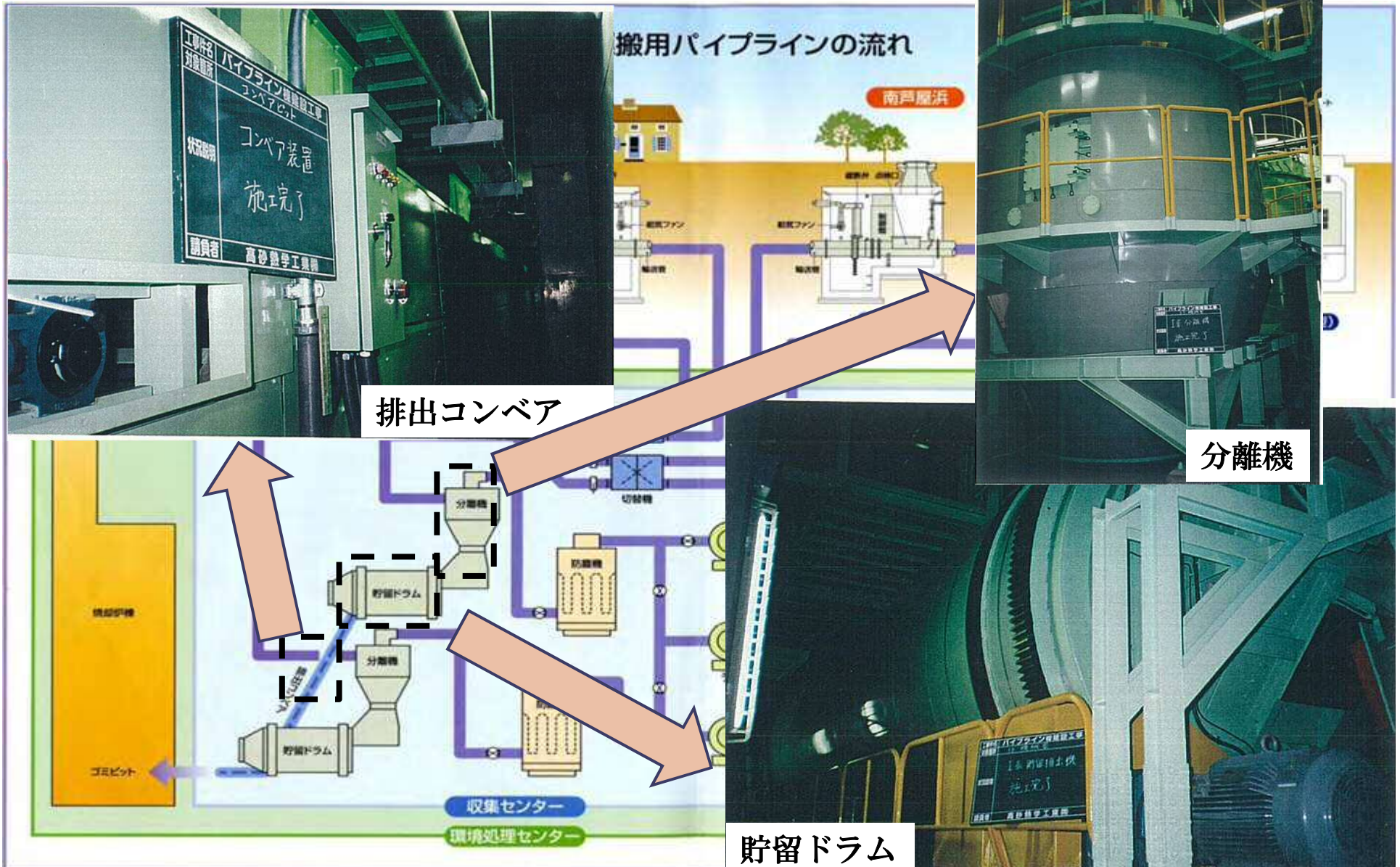
# パイプラインの構造(ブロワ)



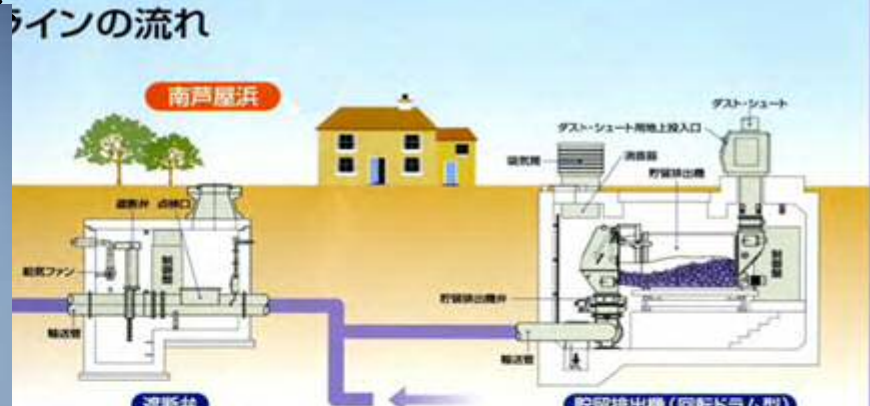
# パイプラインの構造(輸送管)



# パイプラインの構造(分離機, 貯留ドラム, 排出コンベア)



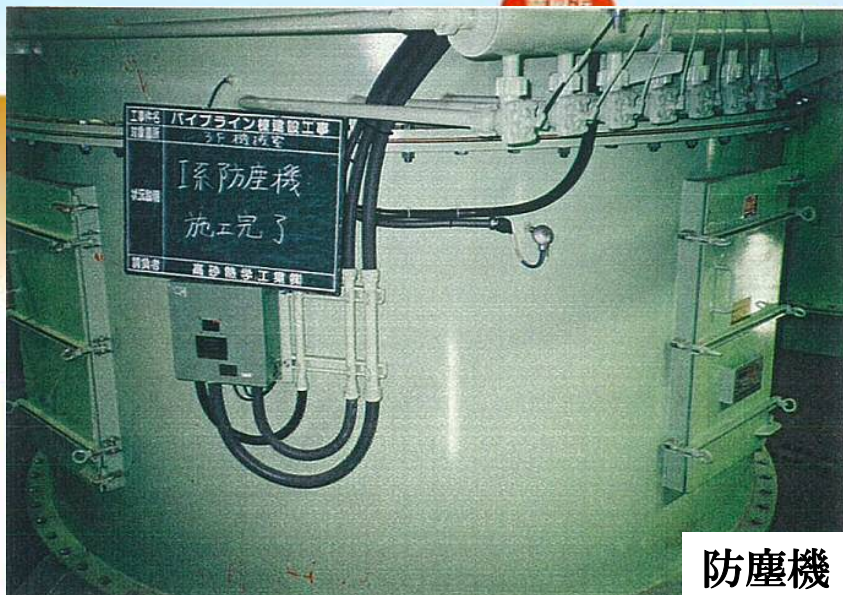
# パイプラインの構造



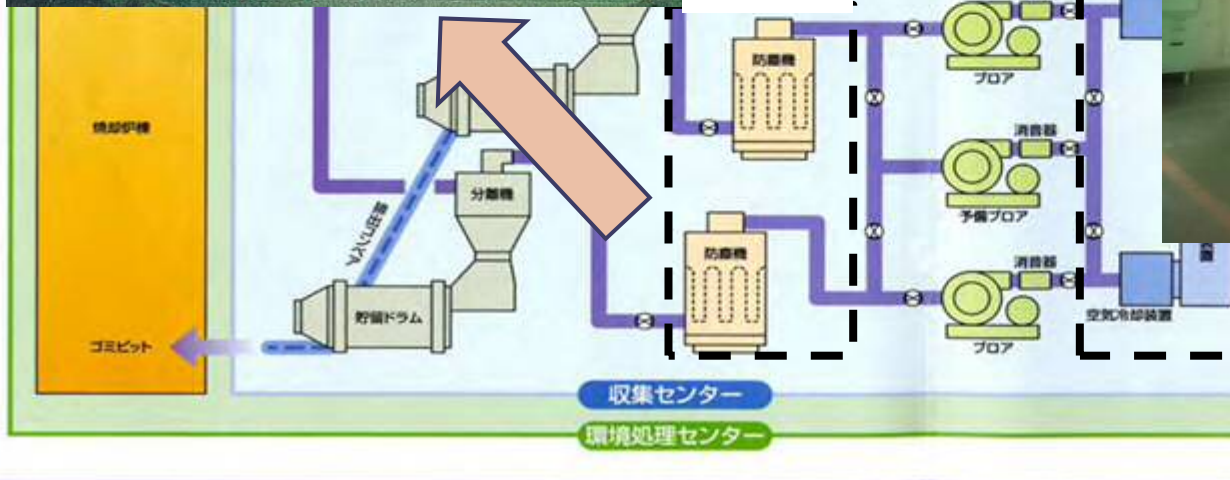
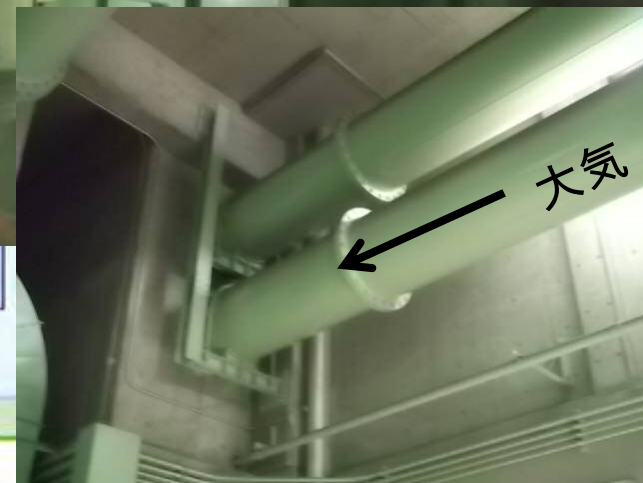
# パイプラインの構造(防塵機, 脱臭装置)

廃棄物運搬用パイプラインの流

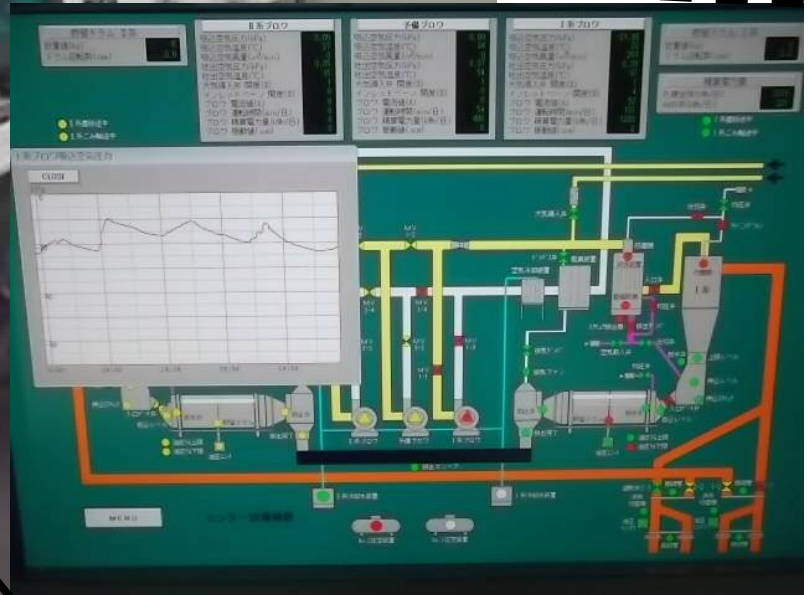
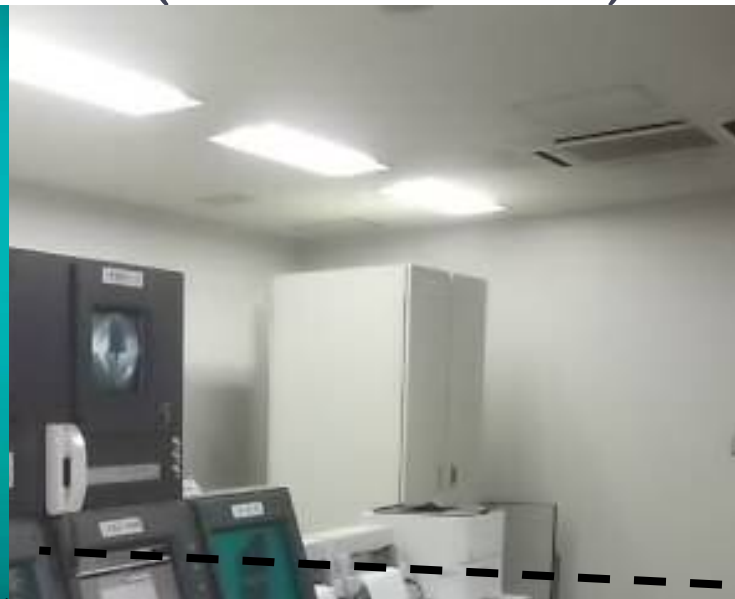
脱臭装置



防塵機



# パイプラインの構造(中央制御室)



# パイプライン導入の経緯(芦屋浜地域)

年代	内容
昭和50年	芦屋浜埋立地域で、まちづくり開始
昭和54年	廃棄物運搬用パイプラインシステム稼働

良質で適正価格の  
高層住宅の開発

高層住宅における  
良好な住環境の整備





# パイプライン導入の経緯(芦屋浜地域)

年代	内容
昭和50年	芦屋浜埋立地域で、まちづくり開始
昭和54年	廃棄物運搬用パイプラインシステム稼働



# パイプライン導入の経緯(南芦屋浜地域)

年代	内容
平成4年	南芦屋浜地域で、パイプラインシステム導入決定
平成10年	入居開始
平成14年	パイプラインシステムの敷設事業中止



発生ごみ量の  
減少に伴う投  
資効果の低下

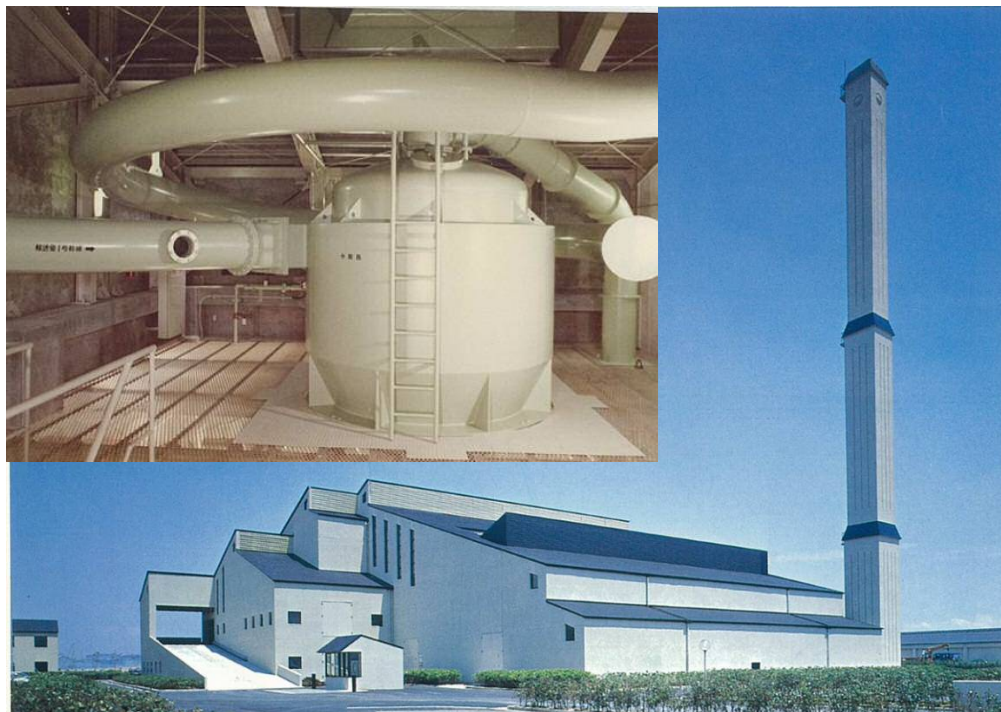
柔軟なまちづ  
くり戦略への  
対応が困難

# パイプライン導入の経緯(施設)

年代	内容
昭和54年	旧焼却施設内にパイプライン施設を併設
平成10年	パイプライン施設を現施設に更新

焼却施設の建替え

南芦屋浜地域の開発



# 現在.....

- 当初から本格的な改修はしておらず，老朽化が進行



# 今後の予定について

- 現地の視察
- 次回開催（予定）
  - 時期
    - ・ 7月頃
  - 内容
    - ・ パイプライン施設の現状整理と分析
    - ・ 他都市の事例等

ご清聴ありがとうございました。